

研究計画「造血細胞移植後の紫外線対策に関する調査」について

研究責任者: 東京大学医科学研究所附属病院 看護部

都留 由香里

【はじめに】

造血細胞移植後の患者さんの皮膚は、表面的には見えなくても細胞レベルでの変化が生じており、日光曝露によって皮膚 GVHD が急激に悪化したり、皮膚の乾燥や色素沈着が悪化することがあるため、日光曝露を避けることや基本的スキンケアを継続することが必要ですが、移植後数年経過すると、紫外線対策やスキンケアを実施する患者さんは減少し、また皮膚トラブルが出現しない患者さんも多く見られます。

本研究では、東京大学医科学研究所附属病院で造血幹細胞移植を行い、外来通院されている患者さんの診療情報を用いて、今年の夏の活動状況と実際に行った紫外線対策を調査し、紫外線対策に関する意識や対策について明らかにすることを目的としています。この研究へのご質問がある方や、研究に情報が使われることを望まない方は、下記のお問合せ先にお申し出ください。その場合でも、不利益が生じることはありませんのでご安心ください。

【研究の対象となる方】

本研究は、東京大学医科学研究所附属病院において、造血幹細胞移植を受け、外来通院している患者さんを対象としております。

【研究に用いる情報の種類】

診療情報: 年齢、性別、疾患、移植方法、移植細胞源、紫外線対策、活動状況、皮膚症状など

【研究期間】

2023 年 10 月 4 日～ 2025 年 3 月 31 日

【研究参加の辞退について】

情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【お問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

<問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者: 東京大学医科学研究所附属病院 看護部 都留 由香里

電話番号: 03-3443-8111 (内線: 75197)

住所: 〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1